

製本のススメ

Vol. 79

暑さ寒さも彼岸まで・・・もうひと頑張りすれば、少しは涼しくなるでしょう
夏バテも出やすくなりますので、この時期健康管理には気を配りたいですね。

今回は**綴じ方選びのポイント**の話し（4回目）

さて、風格の話も最終回です。風格という点では王様で何と言っても上の製本です
並ではありません。

上製

上製は古風にもPOPにもアレンジは可能ですが、ハードカバーが付くと高級感が
増します。自費出版や記念誌などメモリアルな物に多く用いられています。

さて上製本は他の製本と違い**表紙が中身よりも大きく出来ています。これは、中身の保護が目的です。**例えば落としたり、ぶついたりした時に、まず表紙でそのダメージ
を小さくする訳です。また、**表紙のノド側に溝が付いています**（種類によっては、溝の
ない物もあります）**この溝は、表紙の開きを良くする大切な役割があります。**

何よりもまず**堅牢で、本文の保護が出来る事。**次に痛んだ表紙部分だけ取り替えて、**作りなおせる事も特徴**のひとつです。しかし、**束厚は10ミリ以上欲しい**所ですね。
最低3ミリあれば、何とか出来ますが表紙ばかりが際立ち、中身が貧弱に見えてしま
いますので、注意してください。

上製本には糸綴り、花布（ハナギレ）やスピン、箔押しなど多種多様な工程があり、印
刷が出来たからといって2日や3日では出来上がりません。後から加工寸法の融通
が効く並製本の作り方とは違い、作る前に全てを採寸して各工程が一斉にスタートし
ますので、事前に製作用サンプルを製本することも珍しくなく、それほど念入りに計画
採寸して作り上げられていくのです。完成した本は一晩以上ゆっくり寝かせます。

さて上製本の仲間では有りますが、**全く違うのが【帳簿】**です。確かに硬い表紙で
背も丸いのですが**上製の加工方法とは異なります。**次回はオマケで帳簿の話をして
しましょう。



Tea break

先日「羊皮紙(3折紙)」なるものを作りました。読んで字の如く皮です。映画等
で時折見かける公文書の巻物や、地図になっていたりしますので、あんなに乱
暴に扱ってよく破れないなと思ったら、それは皮で作られた皮紙です。
それはどんな物？と思った方は**【羊皮紙工房】** ←検索してみてください。とても
作るのが大変なのです。中世の人たちってエライ！

by (株) 井関製本